

- 9つの「各省連携プロジェクト」を、5つの「横断型」と4つの「疾患領域対応型」に再整理し、相互関係を明確化することにより、一層統合的で効果的な取組に繋げる。
- AMEDが今後さらに注力すべき役割を明確化(専門家を活用した課題選定能力の強化、研究開発マネジメントに資するデータベースの構築、海外事務所も活用した国際共同研究等の推進、産学連携による研究開発の促進等)。
- 現行のKPIは、①2016年3月までと、②2020年頃までの2段階で設定。
 今後は②のKPIについて取り組むことから、KPIの期限を「2020年3月まで」と明確化するとともに、内容を見直し(項目追加、評価基準明確化等)。あわせて、KPIの期限を取り込むため、計画の対象期間を1年間延長。

【疾患領域対応型統合プロジェクト】



横断型統合プロジェクト

- | | |
|----------------------|---|
| 医薬品・医療機器
開発への取組 | ①オールジャパンでの医薬品創出プロジェクト(革新的医薬品・希少疾病用医薬品などの開発促進によるQOLの向上) |
| 臨床研究・治験への取組 | ②オールジャパンでの医療機器開発プロジェクト(医療・介護機器の開発促進によるQOLの向上) |
| 世界最先端医療の
実現に向けた取組 | ③革新的医療技術創出拠点プロジェクト(基礎と臨床の連携強化による医薬品開発等の体制整備) |
| | ④再生医療実現プロジェクト(iPS細胞・ES細胞等の利活用促進を通じた疾患対応への貢献) |
| | ⑤疾病克服に向けたゲノム医療実現プロジェクト(個人の特性を考慮したきめ細かい医療の実現) |
| | 【横断型事業】(ICT関連研究基盤構築・研究開発 ^(※) 、革新的先端研究開発、産学官連携による研究開発・研究基盤整備、生物資源等の整備、国際展開 他) |

成果目標(KPI)を設定し、1人のPDの下で複数の事業を統合的に推進する必要があるものを「統合プロジェクト(①～⑨)」としている。
 ※ 健康・医療戦略推進本部の下の次世代医療ICT基盤協議会での具体的検討等を踏まえる。